

日本都市計画学会関西支部  
第3回研究発表会プログラム

2005.7.20(水) 於 大阪市立大学文化交流センター・ホール

10:05-10:10 開会挨拶(支部長:鳴海邦碩(大阪大学大学院工学研究科))			
10:10 - 11:35 セッション I (土地利用) 座長 正木啓子 (大阪府)	1	○吉原達哉, 鳴海邦碩, 岡絵理子, 笹尾和宏, 松田成貴 大阪大学大学院工学研究科	低成長期における土地利用転換型大規模開発の過程とその効果に関する研究
	2	○客野尚志 兵庫県立人と自然の博物館	明治期から現在までの神戸・阪神間の水際線構成と臨海部の土地利用変化
	3	○木川剛志, 北尾靖雅, 石田潤一郎 京都工芸繊維大学大学院工芸科学研究科	ソウルにおける近代都市計画事業の数理的考察—スペース・シンタクスによるデヒョン地区とソウル中心部との形態解析とその比較—
	4	○川西光子, 中岡義介 兵庫教育大学連合大学院	図像にみる16世紀ブラジル植民都市のつくり方
	5	○山田真紀子 大阪府立大学大学院農学生命科学研究科	阪神間における戦後の住宅地開発の動態に関する研究
総括			
11:35-11:45 休憩			
11:45 - 13:10 セッション II (景観) 座長 榊原和彦 (大阪産業大学)	6	○川原賢史, 岡田昌彰, 服部伊久男 (株)産経住設	大和郡山・百寿橋の系譜と現況に関する研究
	7	○坂内陽子, 赤崎弘平, 村田武一郎 大阪市立大学大学院工学研究科	住民参画による奈良市三条通の沿道景観整備の将来像の描出
	8	○吉田 香 大阪産業大学人間環境学研究科	景観の懐かしさとなじみに関する研究—大東市の事例調査
	9	○松本依子, 後藤祐介, 福島 徹 WRCホールディングス	景観形成における計画協議の有効性の検討—神戸市新在家南地区を事例として—
	10	○川上睦夫, 久 隆浩 近畿大学大学院総合理工工学科	Unitary Development Planにみるイギリスの環境配慮に関する研究
総括			
13:10-14:20 昼食			
14:20 - 15:30 セッション III (交通) 座長 小谷通泰 (神戸大学)	11	○野瀬泰佑, 中村 仁, 赤崎弘平 大阪市立大学大学院工学研究科	生活拠点地区におけるセットバック空間が自動車通行時の歩行者の行動に及ぼす影響—神戸市東灘区岡本地区を事例として—
	12	○堤中知子 大阪芸術大学大学院芸術研究科	高齢者のモビリティ環境に関する考察—歩行補助車「シルバーカート」使用に関して—
	13	○大喜多梨加, 内田 敬, 吉田長裕, 日野泰雄 大阪市立大学大学院工学研究科	大規模地下空間の誘導サインシステムと通路座標の提案
	14	○佐藤晃司, 福島 徹 (株)丸尾計画事務所	明石高砂線におけるヒヤリハットアンケート分析
総括			
15:30-15:45 休憩			
15:45 - 17:10 セッション IV (コミュニティ) 座長 増田 昇 (大阪府立大学)	15	○クム ウチャン 大阪産業大学人間環境学研究科	地域社会における神社の役割と機能—明石市中尾住吉神社の事例調査
	16	○高松孝親 (株)UFJ総合研究所	地域自衛型防犯の取組による安全安心コミュニティ構築に関する研究
	17	○白井清兼, 岡 絵理子 大阪大学工学研究科	千里ニュータウンで育った人のまちへの思い入れに関する研究
	18	○小笠裕士, 南 兌坤, 宇佐美 諒, 杉山 茂一, 徳尾野 徹 大阪市立大学大学院工学研究科	既成市街地に立地する集合住宅のインターフェイス空間に関する研究
	19	○徳岡 潤, 澤木昌典 西宮市都市局都市総括室建築指導課	アドプト・プログラムによる住民主体の生活系公共空間管理に関する研究
総括			
17:10-17:15 閉会挨拶(研究発表委員会委員長:日野泰雄(大阪市立大学))			

注) 1人当たりの持ち時間は15分(原則として、発表10分・質疑5分)ですが、質疑を一括して行う場合があります。